

In protogynous florets found on *Alopecurus japonicus*, *A. aequalis* var. *amurensis*, *Zoysia japonica* and *Pennisetum alopecuroides* f. *purpurascens* the lodicules are lacking or reduced to be rudimentary.

The percentage of fertilized florets are mostly higher in self-pollinated florets than in cross-pollinated florets.

○台湾のスナジマメ属 (大橋広好) Hiroyoshi OHASHI: *Zornia* (Leguminosae) in Taiwan.

台湾のスナジマメ属に2種ある。1つは我国にも分布するスナジマメで、他はヒロハスナマメと呼ばれるものである。後者は最初スナジマメの変種として記載され、*Zornia diphylla* var. *ciliaris* Ohwi と命名されたが、後にその学名は見落されて、台湾特産の独立種 *Z. intacta* Mohlenb. として発表された。両者は次のように区別される。

1. 莢に多数の刺がある。小葉は披針形で鋭頭……………スナジマメ
2. 莢に刺を欠く。小葉は卵形～楕円形で鈍～鋭頭……………ヒロハスナマメ

Var. *ciliaris* のタイプは Ohwi 10 May 1933, *Z. intacta* のタイプは Sasaki 10 Oct. 1934 であるが、東大資料館植物部門には次のようなヒロハスナマメの標本がスナジマメと同一のカバーに入れられていた。より古くから採集されていたことが判る: E. Matsuda 29 May 1913, B. Hayata 7 July 1919, Y. Yamamoto 30 May 1927。スナジマメは世界の熱帯・亜熱帯に広く分布する多形種であると従来認められていたため、ヒロハスナマメも変異の一形として区別されないでいたのであろう。このスナジマメに *Z. diphylla* (L.) Pers. の学名が用いられていたが、近年これがいくつかの比較的狭い分布域を持つ種に分割され、真の *Z. diphylla* はインド南部・セイロン・インドシナに分布する種であるとされるに至った (cf. Dandy & Milne-Redhead in Kew Bull. 17: 73-74, 1963)。我国のスナジマメ *Z. gibbosa* var. *cantonensis* はマレーシア・インドシナ・中国・台湾・四国に分布し、var. *gibbosa* はヒマラヤ・インド・東南アジア・マレーシア・中国に分布する。この説に従えばヒロハスナマメを *Z. diphylla* の変種とすることは無理で、独立種と認めるのがよいと考える。

The following two *Zornia* are found in Taiwan.

1) *Zornia gibbosa* Span. var. *cantonensis* (Mohlenb.) Ohashi in Hara, Fl. E. Himal. 166 (1966), in nota.

2) *Zornia intacta* Mohlenb. in Webbia 16: 84 (1961).

*Z. diphylla* (L.) Pers. var. *ciliaris* Ohwi in Journ. Jap. Bot. 26: 233 (1951), syn. nov.